

Green Go Wired Beltpack

model nr. GGO-BPX



Green Goネットワーク上のすべてのステーションにイーサコンケーブルで接続できる有線ポータブルステーションです。無線ベルトパックは、PoEスイッチによって給電されるように設計されています。Green Goネットワークの他のすべてのステーションと同様に、ベルトパックには、システムを構成するコンフィグレーションファイルが含まれています。コンフィグレーションファイルの詳細については、「コンフィグ使用方法」を参照してください。

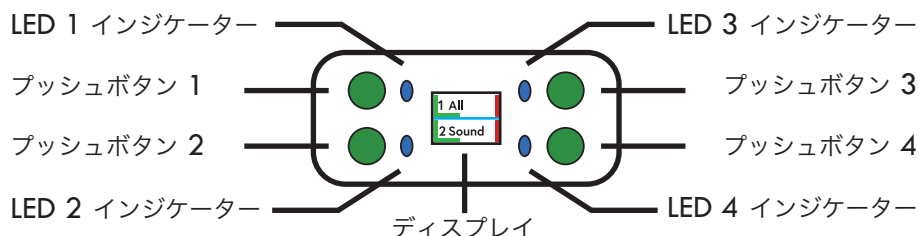
Whats in the box: ワイヤードベルトパック

目次

概要.....	Page 02
基本的な機能説明.....	Page 03
使用方法/セットアップメニュー、ユーザー設定、アサイン.....	Page 03
使用方法/コンフィグ、オーディオファイルのロード.....	Page 04
使用方法/トーク、コール、キュー.....	Page 05
使用方法/UI、カラーコード、押しボタン機能、他.....	Page 06
リファレンス.....	Page 07
設定方法.....	Page 10
トラブルシューティング.....	Page 14
仕様.....	Page 14

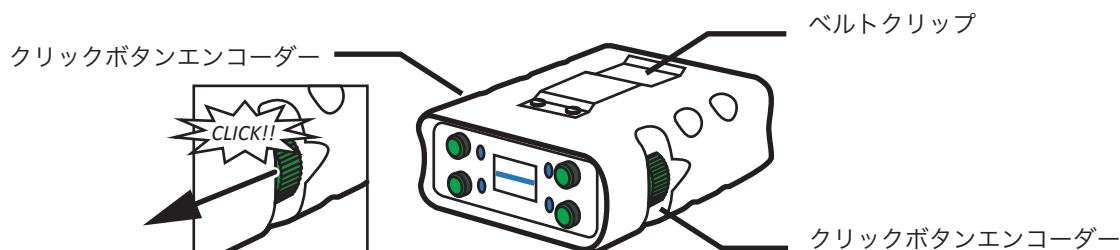
概要

前面



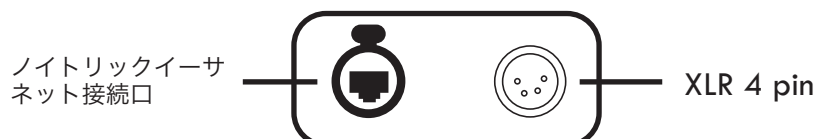
- LED インジケータ 1-4:** プッシュボタンのアクティビティを示します。
プッシュボタン 1-4: プッシュボタンは、トークやコールなどの通信機能に使用され、エンコーダーと組み合わせて使用されます。
ディスプレイ: フルカラーOLED高解像度ディスプレイは、テキスト情報、キュー信号を提供し、4つのボタンの機能を示します。

サイド + ボタン



- クリックボタンエンコーダー:** メニューを移動するときにスクロールと選択に使用されます。ボリュームやチャンネル選択などの機能も制御します。左右にそれぞれ1つずつ、右手と左手の両方のユーザーの操作が簡単です。
ベルトクリップ: ベルトパックの取り付けが簡単です。

裏面



- Neutrik Ethercon:** PoEスイッチに接続して、ベルトパックにデータと電源を供給します。
XLR-4 pin: ヘッドセット接続口

基本的な機能説明

- コンフィグレーションファイル** - コンフィグファイルは、ユーザー、グループおよびそれらの相互作用に関する情報を含むシステムを構成します。ベルトパックがネットワーク上の他のGreen Goデバイスと通信するには、同じ設定ファイルをロードする必要があります。設定ファイルは、別のデバイスからロード/クローン化することができます。工場出荷時のデフォルトファイルを選択することも、Green Go Controlソフトウェアでカスタム設定ファイルを作成することもできます。コンフィグファイルは、スイッチ以外のすべてのユニットに含まれています。
- クローンコンフィグ** - クローンファイルは、ネットワーク上のファイルを含む別のGreen Goデバイスから複製できます。
- ユーザーセレクション** - ベルトパックは、あらかじめ決められたユーザープロフィールを使用するように設定できます。これらのユーザープロフィールのルールは、コンフィグファイルで決められています。
- チャンネルアサイン** - ベルトパックには32のチャンネルがあります。ユーザーまたはユーザーグループとトークやコールするには、使用可能なチャンネルの1つにアサインする必要があります。
- コネクション** - 接続タイプを設定することにより、ベルトパックは異なる設定で動作することができます。リモート接続またはローカル接続。その場所のブリッジを介してリモートサイトに接続することも、通常のセットアップで動作させることもできます。
- トーク** - ベルトパックの32チャンネルのいずれかにアサインされたユーザーまたはグループとトークできます。ベルトパックの32チャンネルのいずれかにアサインされたユーザーまたはグループを
- コール** - コールします。
- キュー** - アテンション・アンド・ゴーキューを受信し、キュー受信を確認することが可能です。
- アンサー** - 呼び出しに対応します。
- アラート** - ベルトパックの32チャンネルのいずれかにアサインされたユーザーまたはグループに、ビジュアルおよびオーディオのアラート信号を送信します。
- ボリューム調整** - ボリュームの調整は、メインボリュームと個々のチャンネルボリュームの両方に対して行うことができます。
- エンコーダー機能アサイン** - ベルトパックの両側にあるクリック可能なエンコーダーは、デフォルトのメインボリュームを制御しますが、サイドトーンまたはプログラムボリュームを設定できます。

使用方法

セットアップメニュー

セットアップメニューに入るには、両方のエンコーダーを同時にディスプレイの方向に引いてクリックします。この方法は、セットアップメニューを素早く終了する方法としても機能します。

セットアップメニュー方法

エンコーダーを使用してスクロールします。エンコーダーまたは4つのプッシュボタンの1つをクリックして選択/入力します。Cancel/Exitをクリックしてメニューを終了します。

ユーザー設定

セットアップメニューに入ります。「Set User」までスクロールします。「Enter」をクリックします。目的のユーザーにスクロールして「Enter」をクリックします。

チャンネルアサイン

ユーザーまたはグループは、32の使用可能なチャンネルのいずれかにアサインすることができます。セットアップメニューから「Channel Assignment」までスクロールし、「Enter」をクリックします。グループまたはユーザーをアサインするチャンネルまでスクロールし、「Enter」をクリックします。IDまでスクロールして「Enter」をクリックします。

グループ、ユーザーまたは、なしなどアサインしたい項目までスクロールし、「Enter」をクリックします。使用可能なグループまたはユーザーのリストが表示されます。目的のグループまたはユーザーにスクロールし、「Enter」をクリックします。

クローンコンフィグファイル

セットアップメニューから「Clone Config」にスクロールします。「Enter」をクリックし、スクロールして目的のコンフィグファイルを選択します。工場出荷時のコンフィグファイルはリストの最後にあります。「Enter」をクリックしてコンフィグファイルを読み込みます。

オーディオファイルのロード

セットアップメニューに入り、Audio Settings/Load Profileをロードします。「Enter」をクリックし、スクロールして目的のプロファイルを選択します。

デフォルトのオーディオプロファイルファイルは、リストの最後にあります。プロフィールを読み込むには「Enter」をクリックしてください。

ボリューム調整

デフォルトでは、2つのエンコーダー両方ともメインボリュームを調整します。左手と右手での操作が可能です。

エンコーダーの1つをスクロールするときに押しボタン1-4を同時にクリックすると、押されているボタンが制御するチャンネルの音量が調整されます。

個々のチャンネルの音量は、Setupメニューでも設定できます。

設定値は、MUTE、-36dB、12dB、0dB（デフォルト）です。

これを行うには、Setupメニューに入り、「Channel Assignment」にスクロールし「Enter」をクリックし、希望のチャンネルにスクロールして「Enter」をクリックし、ボリュームにスクロールして「Enter」をクリックします。

エンコーダーをクリックしている間、トークまたはセレクトをクリックすると、チャンネルがミュート/ミュート解除されます。

エンコーダーに新機能をアサイン

2つのエンコーダー両方ともメインボリュームを調整します。

ただし、エンコーダーには新しい機能を割り当てることができます。

これらの機能には、None、Side Tone、Program Volume、Main Volumeがあります。セットアップメニューに入り、「Device Options」にスクロールし、「Enter」をクリックします。新しい機能をアサインするエンコーダーにスクロールします。

「Enc <」 or 「Enc >」のいずれかを選択し、「Enter」をクリックして、目的の機能までスクロールし、もう一度「Enter」をクリックします。

プログラムオーディオにグループをアサイン

プログラムオーディオを使用すると、基になるオーディオソースとしてグループを設定できます。これは、ステージサウンドまたはその他のグループにすることができます。グループをプログラム・オーディオとして割り当てるには、Setup Menu / Program Audio / Srcに進みます。

目的のグループまでスクロールして選択します。

ローカルロケーションに Green Go ネットワークを接続

デスクステーションをネットワークに接続します。

Setup menu / Connection / 「Local connection」をクリックし、リモート接続を選択します。

リモートIPおよびリモートポートまでスクロールし、リモートロケーションでブリッジのIPおよびポート番号を設定します。

セットアップを説明するためのステップごとの指示が必要です。

トーク

話したいチャンネルが表示されているTFTディスプレイの横にあるプッシュボタンを押します。
短く押すとトークが有効になり、再度押すとトークが無効になります。（ラッチ機能）
ボタンを押したまま離されるまでトークが有効になります（モメンタリー機能）

コール / コールモード

コールは、選択したチャンネルにビジュアルシグナルを送信します。（グループ/ユーザー）
グループ/ユーザーは、コールに応答することを選択できます。
コールは、目的のチャンネルに関連付けられた「Call」ボタンを短く押します。
コールボタンの使用内容は、選択したUIによって異なります。長押しするとアラートが送信されます。

キュー / キューモード

ゴーキュー、またはゴーキュー前のアテンションキューの2つの異なるキューを受け取ることができます。
アテンションキューが受信されると、ディスプレイは黄色で点滅し、「Attention」の後に「Senders Name」が表示されます。エンコーダーをクリックすると、キューの応答が送信者に送信され、ディスプレイが赤色に変わり、「保留」の後に「Receipients name」が表示されます。
Goキューが受信されると、ディスプレイは緑に変わり、テキストは「Go」および「Senders name」になります。

ベルトパックをデフォルトに戻す

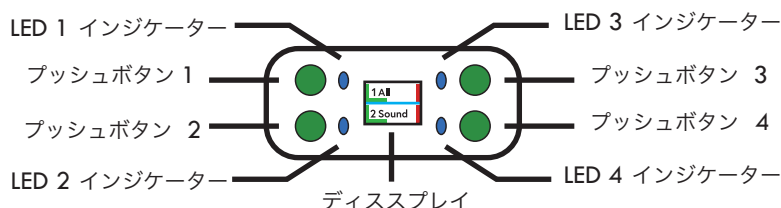
セットアップメニューに入で、「Info」にスクロールし、「Enter」をクリックします。「Reset All Settings」までスクロールして[Enter]をクリックします。
確認するには「Yes Reset」をクリックしてください。

ファームウェア更新

ファームウェアはイーサネットまたはmini USB経由でアップロードできます。
最新のファームウェアはwww.GreenGoDigital.comにあります。
最新のファームウェアとGreen Go Control and Connectionソフトウェアをダウンロードしてください。

-ソフトウェアを起動する
-スキャンをクリックして、ネットワーク上のアンテナを検索します
-次に、アンテナまたは複数のアンテナを選択し、更新をクリックします。
これにより、ファイル選択ウィンドウが開き、デバイスのファームウェアを選択して「Open」をクリックすると、ファームウェアの更新が開始されます。
アップデートが成功すると、デバイスは再起動します。

The UI



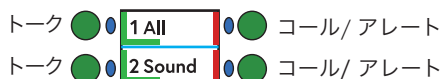
カラーコード

ディスプレイとインジケータLEDのカラーコードの意味

- 4つ全て青色点滅: 同じ設定ファイルを持つ他のデバイスがネットワーク上で未検出
- 青色: 無効/待機状態 ●緑色: トークオン ●黄色: チャンネル上での他の会話をリスニングのみ
- 赤色: コール受信 ●●赤色点滅: チャンネル上でアラート受信
- 白色: アラートシグナル送信

プッシュボタン機能

このユーザーガイドの例では、ベルトパックがデフォルトのUIに設定されていると想定されます: 2パート



トークボタンの機能: プッシュボタン1 + 2

- 短押し: 瞬時に押すとトークが再び無効になるまでトークが可能になります (ラッチング)。
- 長押し: ボタンが押されている間トークします。

トーク/アラートボタンの機能: プッシュボタン3 + 4

- 短押し: コール信号送信
- 長押し: アラート信号送信 (4秒)

拡張ビューと機能

エンコーダの1つをクリックして保持すると、情報画面が表示され、拡張ビューへの特別なアクセスが可能になります。バッテリーの状態/アンテナ信号の状態/ステータス/ベルトパックのために選択されたユーザーを表示します

プッシュボタン4をクリックすることで、拡張ビューを選択できるようになります。

「Extended」を選択すると、残りの32チャンネルが表示されます。機能は次のとおりです:

- エンコーダー: スクロール - プッシュボタン1: トーク - プッシュボタン2: コール/アラート
- プッシュボタン3: 選択 (音量設定、プッシュボタン、エンコーダを使用して上下にスクロール)
- プッシュボタン4: 拡張ビューを終了します。

UI変更

このユーザーガイドでは、デフォルトのUIを使用していることを前提とし、2つの部分から構成されていますが、UIレイアウトを変更することは可能です。

UIを変更すると、利用可能な機能やその機能の場所が変わります。

UIを変更するには、セットアップメニューに入り、デバイスオプションまでスクロールして「Enter」をクリックします。UIまでスクロールし、「Enter」をクリックします。

さまざまなUIがあります:

- UI: 2パート: 表示: 2チャンネル - プッシュボタン1 + 2: トーク - プッシュボタン3 + 4: コール/アラート
- UI: 3パート: ディスプレイ: 3チャンネル - プッシュボタン1 + 2 + 3: トーク - プッシュボタン4: 拡張ビュー/コール/アラート
- UI: 4パート: ディスプレイ: 4チャンネル - プッシュボタン1 + 2 + 3 + 4: トーク
- UI: ダイレクト2: 表示: 4チャンネル - プッシュボタン1 + 2 + 3 + 4: トーク/セレクト
- UI: トグル2: 表示: 4チャンネル - プッシュボタン1 + 3 + 4: トーク/セレクト - プッシュボタン2: チャンネル1と2を切り替えます
- UI: トグル2inv: 表示: 4チャンネル - プッシュボタン1 + 2 + 3: トーク/セレクト - プッシュボタン4: チャンネル1 + 2を切り替えます
- UI: - なし: ディスプレイはオフになりますが、プッシュボタンの機能はUIの場合と同じになります: 2パート

リファレンス

アラート

1人のユーザーから別のユーザーまたはグループにオーディオとビジュアルアラートが送信されます。UI設定に応じて、(ユーザー/グループ)にコールボタンを長押しして、チャンネルに警告信号を送ることができます。選択されたチャンネル(ユーザー/グループ)でビジュアルアラート(赤い点滅)とブザー音が鳴ります。

アナウンス

どのグループもアナウンスチャンネルに配置できます。アナウンスチャンネルはリッスンのみです。チャンネルのすべてのアクティビティは優先順位に従って処理されます。アナウンスはハイプライオリティより優先度が高くなりますが、緊急時にはミュートされます。

アンサー

呼び出しに対する応答です。ユーザは、応答中にエンコーダをクリック+ホールドすることで、通話に応答することを選択できます。

ブザー

ブザーはユニット内のスピーカーです。アラートを受信するとブザーが鳴ります。ブザーをオンにすることができます。セットアップメニューの「オン/オフ」:「Options/Buzzer」で行います。

コール

ユーザーとグループ間で会話リクエストを送信します。UI設定に応じて、目的のチャンネル(ユーザ/グループ)のコールボタンを短く押しコールします。発信と受信は、個々のチャンネルに対して有効または無効にすることができます。

チャンネル

チャンネルは、特定のユーザーまたはグループに予約された「回線」です。1つのユニットで32チャンネルを使用できます。各チャンネルには、ユーザーまたはグループがアサインされます。通信するユーザーとグループを選択し、それらをチャンネルにアサインします。最速のアクセスを行うには、ユーザーとグループを若いチャンネル番号からアサインします。

チャンネルアサイン

ハードウェアインターフェイス(ボタンとエンコーダ)を使用して特定のユーザーまたはグループにアクセスするには、それらを32のチャンネルの1つにアサインする必要があります。これはセットアップメニューの「Channel Assignment」で行います。

チャンネルID

グループまたはチャンネルの名前を設定します。

コンフィグファイル/Config File

コンフィグファイルは、システムセットアップに関する情報を含むファイルです。どのユーザーとグループが利用可能で、どのルールがコミュニケーションに適しているかなどを含みます。ユニットが通信できるようにするには、GreenGoシステムのすべてのユニットで設定ファイルを同じにする必要があります。工場出荷時の設定ファイルはすべてのユニットで利用できますが、コンフィグファイルはGreen Go Controlソフトウェアで作成できます。コンフィグファイルは、そのファイルを含む他のユニットからも複製できます。1つのユニットには1つのコンフィグファイルしかロードできません。

キュー

キューは、MCDXやMCXなどのマルチチャンネルのステーションから送信できます。キューはユーザーまたはグループに送信できます。

ダイレクトGOキューまたはStandby/Attention Cue + GOキューのいずれかとして送信できます。後者として送信された場合、キューは受信者のディスプレイに「Attention」メッセージとして表示されます。受信者は、キューの受信を知ることができ、GOキューを送ることができます。

キュー受信の承認は、いずれかに設定することができます。Normal: 手動確認、Auto answer: 自動応答または、Ignore: 応答なし。

リファレンス

ダイレクトチャンネル/ダイレクトコール

ダイレクトチャンネルは、受信者が32の利用可能なチャンネルのうちの未アサインの1つのユーザーからのコールを受信するためのチャンネルです。これらのコールはダイレクトコールと呼ばれます。これは、ユーザー間の通信でのみ使用できます。

エマージェンシー

どのグループも緊急チャンネルに設定可能です。緊急チャンネルはリッスンのみです。Green Goシステムでは緊急事態が最優先され、他のすべてのチャンネルがミュートされます。

強制再接続 – ワイヤレスベルトパックのみ

ベルトパックをアンテナから切り離し、使用可能な最良の信号に再接続することができます。この機能は、セットアップメニューの「Forced Reconnect」で有効または無効にすることができます。強制的に再接続するには、ベルトパックの後部にあるスライダを瞬時にスライドさせます。

グループ

ユーザーのグループ。ユーザーは、1つ以上のグループに含めることができます。サウンドクルー、ライティングクルー、ステージクルーなどのグループ設定ができます。グループのすべてのメンバーと同時に通信することができます。

アイソレート

分離がONに設定されていて、チャンネルでトークを有効にすると、トークがアクティブである限り、他のすべてのチャンネルがミュートされます。

ラッチ

トークボタンを押し続ける必要がなく、一度のトークボタンで会話を有効または、無効にします。

モメンタリー

トークを有効にしたい間、ボタンを押してください。

リッスントーク

「Listen on Talk」がオンの場合、ミュートされたチャンネルで話すと、応答が聞こえるように一時的にチャンネルのミュートを解除します。

ペアリング – ワイヤレスベルトパックのみ

ワイヤレスベルトパックは、アンテナと組み合わせる必要があります。ベルトパックは最大4本のアンテナのペアリングを登録されます。アンテナは一度に4つのベルトパックに対応できますが、最大6つのベルトパックを記録することができます。

PoE

PoE (Power Over Ethernet)。ユニットへの電力は、イーサネットケーブルを介してPoEスイッチから供給されます。これはアンテナ、デスクステーション、有線のベルトパックなどです。

ポップアップ

ポップアップは、キューまたはダイレクトコールを受信したときに発生します。ポップアップの動作はセットアップメニューで設定できます：「Options / Popup」

プライオリティ

優先順位は、各チャンネルごとに設定することができます。より高い優先度のチャンネルは、より低い優先度のチャンネルを書き換えます。

レベルは：低、正常、高、アナウンス、緊急です。

より高い優先順位のチャンネルがアクティブになると、優先順位の低いチャンネルは、「Options / PriorityDim」の設定メニューに従って淡色表示になります。例外はEmergencyで、他のすべてのチャンネルをミュートします。

リファレンス

プログラムオーディオ

ベルトパックのバックラウンドサウンド：DeskstationやInterface Xからのユーザ、グループ、またはアナログオーディオ入力に使用できます。

ローミング- ワイヤレスベルトパックのみ

アンテナ信号が弱くなると、ベルトパックは他のペアのアンテナからより良い信号を探し始めます。これはローミングと呼ばれます。ベルトパックは最大4本のアンテナを登録できます。ペアリングを参照してください。ベルトパックがローミングを開始する信号強度のレベルを設定することができます。セットアップメニューの「Connection/Roaming」で行います。強制的にベルトパックをアンテナからの接続を外し、使用可能な最良の信号に再接続することもできます。この機能は、セットアップメニューで有効または無効にすることができます。「Forced Reconnect」強制的に再接続するには、ベルトパックの背面にあるスライダを瞬時に横に動かします。

ユーザー設定

ベルトパックやその他のステーションを使用するときは、使用するユーザープロファイルを選択できます。ユーザープロファイルはコンフィグファイルに設定されています。Factory Default Configurationファイルでは、Stagemanager、FOH、Monitor、Directorなどのようなユーザーを見つけることができます。最適なものを選択してください。

SideT

Side Toneはユーザー自身の声の返りです。自分のスピーカー/ヘッドセットに自分の声の大きさを設定することができます。これはセットアップメニュー、Audio settings/SideTで行うことができます。

トーク

マイク音声をアサインされたチャンネルに送信します。目的のチャンネル（User/Group）のTalk押しボタンを押してください。

スレッシュホールド

スレッシュホールドは、マイクがピックアップする音声/ノイズを避けるべき最大レベルです。ユーザーは個々の音声レベルを持ち、マイクの位置を個別に決める方法と、マイク毎に異なる感度を持っています。不要な音声を送信されるのを防ぐには、必要に応じてスレッシュホールドを設定します。

トーン

オーディオ信号のレベル。アラート、キュー、接続ステータス、バッテリーステータスに使用されます。音量はセットアップメニューで設定できます：「Options / Tone」

UI

ユーザーインターフェイス - UIはディスプレイのレイアウトです。さまざまなレイアウトが用意されています。これらはセットアップメニューにあります。レイアウトが変わると、ボタンの機能も変わります。

ユーザー

インターカムを使用するすべてのユーザーです。ユーザーはグループに参加できます。カスタムユーザーとグループは、Green Go Controlソフトウェアで作成できます。作成されると、ユーザーは名前付きプロファイルを取得し、自動的に設定ファイルに保存されます（詳細はコンフィグファイルを参照）。ユーザーは、任意のデバイスにロードすることができ、同時に複数のデバイスにロードすることができます。

設定方法

以下では、セットアップメニューを紹介します。お探しの項目や、セットアップメニューのリストです。

セッション

- Program In:** このセクションでは、Program Audio Channel Assignmentのパラメーターを設定できます。
- Channel Assignment:** 利用できるチャンネルは32です。チャンネルにグループとユーザーをアサインすることができます。
- Audio Settings:** マイクのオーディオオプションを設定できます。
- Options:** 一般的なオプション設定ができます。
- Set User:** ベルトパックに使用するユーザープロフィールを選択します。
- Clone Config:** 別のGreen Goデバイスからコンフィグレーションファイルをクローン化するか、または工場出荷時のデフォルト設定をロードします。
- Connection:** ベルトパックをアンテナ接続を設定します。
- Device Options:** お使いのデバイスのUI設定と警告を設定します。
- Info:** ベルトパックについての情報、設定をリセットします。

設定方法

Exit //Leave menu

Program IN

Exit //Go back

Src:___

Select Program Audiosource: external audio source - Program audio - Mixer out etc.

Vol: デフォルト : 0dB - 範囲 : + 12dB - -36dB - およびミュート//プログラムの音量を設定します

Dim: デフォルト : - 6dB - 範囲 : 0~-24dBとMUTE //通信中のオーディオディム音量をプログラムします。

Channel Assignment

Exit//Go back

1 - 32//ユーザーまたはグループをアサインするチャンネルを選択します。

Exit //Go back

ID: 258//チャンネルにアサインされたユーザーまたはグループのIDです。

Exit //Go Back

Group //チャンネルにグループをアサインします。

User//チャンネルにユーザーをアサインします。

None//チャンネルからアサインを削除します。

Set Label//チャンネルに異なるラベルを設定します。

Group//グルーブラベルを選択します。

User//ユーザーラベルを選択します。

Clear//ラベルセットをクリアします。

Talk: Latch/Momentary//トークの状態を選択します。

Latch/Momentary //短押し : Latch - 長押し : Momentary

Latch//トークボタンを押すと会話可能です - 2回押すと発言が無効になります。

Momentary//トークボタンを押し続けて会話を続けます。

Disabled//このチャンネルでの会話はできません。

Listen On:

Listen On //チャンネルのリッスンを有効にします。

Listen Off //ディスプレイにはまだトークが示されますが、信号はOffになります。

Volume: //チャンネルの音量を設定します。

デフォルト0dB - 範囲 : ミュート、-36dB~12dB

Normal Priority//チャンネルの優先度を設定します。「Options / Priority dim」も参照してください。

高優先度、通常優先度、低優先度

Call Send Enabled //コールをチャンネルに送信する機能を有効または無効にします。

コール送信有効/コール送信無効

Call Receive Enabled //チャンネルからのコールを受信する機能を有効または無効にします。

コール受信有効/コール受信無効

An : アナウンスチャンネルとしてグループをアサインします。Priority and Announceを参照してください。

Em : Emergency Channelとしてエマージェンシーをアサインします。Priority and Emergencyを参照してください。

設定方法

Audio Settings

- Exit//Go back
Load Profile//Load an audio profile stored in the configuration file コンフィグファイルにオーディオ設定をロードします。
Exit//Go Back
- SideT: サイドトーン//自身の声の返りを設定します。
デフォルト: 0dB – 範囲: ミュート ~ -0dB
- Auto: //ディストーションを防ぐためにダイナミックを設定します。
デフォルト: ミディアム – 範囲: スロー ~ Off
「Off」設定は最大ゲインは無効です。
- MaxG: 最大ゲイン//入力、マイク信号の最大ゲインを設定します。
デフォルト: 50dB – 範囲: -60dB ~ 30dB
- Thld: スレッシュホールド//送信される入力、マイク信号レベルを設定します。
デフォルト: -35dB – 範囲: -20dB ~ -Off
「Off」設定時はトーク時マイク、入力信号が送信されます。
スレッシュホールドが高すぎると、入力、マイク信号が散発的になります。
- Hold: //スレッシュホールド設定時のゲートが開く時間を設定します。
デフォルト: ファースト – 範囲: Xロング ~ ファースト
- Bias: //電子マイク使用時Biasは電源供給が必要です。
デフォルト: Off – 範囲: On ~ Off
- In: オーディオ入力ソース//ベルトパックオーディオソースを選択します。
デフォルト: ヘッドセット – 範囲: 4kHz ~ 125Hz – ヘッドセット

Options

- Exit//Go Back
- Active Time: //最後のオーディオアクティビティ後にチャンネルをアクティブにする時間を秒単位で設定します。
デフォルト: 4.0s 範囲: 45.0s - 0.5s
- Isolate: //チャンネル上でトークを有効にすると、他のすべてのチャンネルがミュートされるか、ミュートされません。
デフォルト: オフ、範囲: オン - オフ
- Buzzer: //アラートを受信したときに鳴るブザー音を有効または無効にします。
デフォルト: オフ、範囲: オン - オフ
- Tone: //アラート、キュー、接続ステータス、およびバッテリーステータスに使用されるオーディオ信号のレベル。
デフォルト: -12dB レンジ: 最大、-1dB - 48dB、ミュート
- No Listen on Talk: //チャンネル上でトークを有効にすると、ミュートされたチャンネルを一時的にミュート解除することができます。
デフォルト: No Listen on Talk、範囲: No Listen - Listen on talk.
- Answer Enabled: //コール応答を有効または無効にします。
デフォルト: 応答有効、範囲: 応答有効 - 応答なし
- Popup All: //Popup状態を選択します。
Popup All//すべてのポップアップが表示されます。
Popup Cue+Direct//キュー信号のポップアップとダイレクトトークのみです。
Popup Cue//キュー信号のみのポップアップ
No Popup//Popupなし
- Priority Dim: //優先度の高いチャンネルがアクティブになる場合、優先度の低いチャンネルのディミングレベルを設定します。
デフォルト: -6dB レンジ: 0dB ~ -24dB、ミュート
- Direct Priority: //ダイレクトチャンネルのプライオリティを設定します。
デフォルト: ノーマル 範囲: ハイ - ロー
- Direct Volume: //直接チャンネルの音量を設定します。
デフォルト: 12dB、レンジ: 12dB - -36dB、ミュート
- Cue Mode: //キュー信号でレスポンスを設定します。
デフォルト: ノーマル
範囲: 無視//何もしない
自動応答//送信者に「cue received」確認を自動的に送信します。
通常//ユーザーが確認や返信を要求します。

設定方法

Set User : //ベルトパックに使用するユーザを選択します。

Cancel//Go Back
「User A-Z」

Clone Config //ネットワークから設定ファイルをクローンしたり、工場出荷時のデフォルトをロードします。

Cancel//Go Back
「コンフィグファイルA-Z」
工場出荷時のデフォルト

Connection: //使用するデバイスの接続タイプを設定します。

このメニューに入ると、選択した接続タイプのメニューが表示されます。メニューは次のいずれかです：
ローカル接続またはリモート接続

Local Connection: ローカル接続は通常動作です。

ここをクリックすると、Local/Remote/Latency/Master接続選択メニューが表示されます。

Save //保存設定
Cancel //Go Back

もしくは

Remote Connection: //ブリッジ経由でリモートサイトに接続するときは、リモート接続が使用されます。

デバイスはそのロケーションの完全なメンバーになります。

Local/Remote/Latency/Master接続選択メニューが表示されます。

Password: //接続のパスワードを設定します

ノブを回してスクロールし、ノブをクリックして選択すると、ツールキーが終了します。
password入力: 8桁の数字,A-Z,a-z,0-9,!,@,#,\$,%,&,*,(,),

Generate Password://ランダムなパスワードを選択します。

Remote Port: // リモートポートを選択

ノブを回してスクロールし、ノブをクリックして選択すると、ツールキーが終了します。

Remote IP: 0.0.0.0 //Select remote IP

ノブを回してスクロールし、ノブをクリックして選択すると、ツールキーが終了します。

Backup: Off //有効な場合、接続されたブリッジに障害が発生した場合、再接続します。
Off, 0.0.0.1

SndBuf: // インターネットジッタを補うためにバッファを設定します。

デフォルト、小、標準、大

RecvBuf: // インターネットジッタを補うためにバッファを設定します。Autoは接続に従って調整します。

デフォルト、小、標準、大

Save //接続設定を保存します。

Cancel //Go Back

Network

Dynamic: //動的ネットワーク設定を選択するか、独自の設定を行います。

Default: ON

OFF: IP address: 169.254.181.58

Netmask: 255.255.0.0

Gateway: 0.0.0.0

Save //Save the settings

Cancel //Go Back

Save //ネットワーク設定保存

Cancel //Go Back

Device Options

Exit//Go Back

UI: 2-part//ベルトパックに使用するユーザを選択します。

- //表示オフ - ボタンは2パートとして動作します。

2-Part //2つの最初のチャンネルを表示します。

Button 1: Talk Ch 1

Button 3: Call Ch 1

Button 2: Talk Ch 2

Button 4: Call Ch 2

設定方法

- 3-Part** //3つの最初のチャンネルを表示します。
 Button 1: Talk Ch 1 Button 3: Talk Ch 3
 Button 2: Talk Ch 2 Button 4: Go to Ch 4 - 32
- 4-Part** //4つの最初のチャンネルを表示します。一回押して選択します。2回目でトークになります。
 Button 1: Talk Ch 1 Button 3: Talk Ch 3
 Button 2: Talk Ch 2 Button 4: Talk Ch 4
- Direct 2** //4つの最初のチャンネルを表示します。一回押して選択します。
 Button 1: Select Ch 3/Talk Ch 3 Button 3: Select Ch 4/Talk Ch 4
 Button 2: Select Ch 1/Talk Ch 1 Button 4: Select Ch 2/Talk Ch 2
- Toggle 2** //4つの最初のチャンネルを表示します。
 Button 1: Select Ch 3 Button 3: Select Ch 4
 Button 2: Toggle C 1 and 2 Button 4: Talk button
- Toggle 2inv** //4つの最初のチャンネルを表示します。
 Button 1: Select Ch 3 Button 3: Select Ch 4
 Button 2: Talk button Button 4: Toggle Ch 1 and 2

Flip: //表示項目の一部または全部を上下フリップする場合に選択します。

- デフォルト: オフ
 範囲:
 Both//フリップメニューとメイン画面
 Menu //このメニューのみをフリップします。
 Main //メイン画面のみをフリップします。
 オフ//フリップしません。

Enc <: //左のエンコーダのスクロール機能を選択します。

- デフォルト: メインボリューム
 範囲:
 -//エンコーダのスクロールには機能がありません
 Side Tone //エンコーダーのスクロールでサイドトーンの音量が調節されます。
 Program Volume /エンコーダースクロールでプログラムボリュームを調整します。
 Main Volume //エンコーダースクロールでメインボリュームを調整します。

Enc >: //右のエンコーダースクロールの機能を選択します。

- デフォルト: メインボリューム
 範囲:
 -//エンコーダのスクロールには機能がありません
 Side Tone //エンコーダーのスクロールでサイドトーンの音量が調節されます。
 Program Volume /エンコーダースクロールでプログラムボリュームを調整します。
 Main Volume //エンコーダースクロールでメインボリュームを調整します。

LED bright: //4つのインジケータLEDの輝度を設定します。

- デフォルト: 4
 範囲: 最大、6 - 1、オフ

Scr Saver: //最後のアクティビティの後にディスプレイがオフになるまでの時間を設定します。

- デフォルト: 10分
 範囲: 2時間、1時間、30分、10分、1分、30秒、10秒、常にオン

Info //ユニットに関する情報を表示します。

Name set //ユニットの名前。 Green Go ControlまたはConnectionソフトウェアで設定可能 です。
 アクセス保護なし - アクセス保護

//Green Go Controlソフトウェアで設定されているアクセス保護を表示します SN: 214 //

Unit serial number

BeltpacX 4a44 //Firmware version

BeltpacX 4a44 //Firmware version

Jun 12 2049 //Firmware release date

13:01:02 //Firmware release time

IP: 169.254.181.58 //Device IP

Mac: XX:XX:XX:XX:XX:XX //Device Mac address.

Reset All Settings //すべてのIP、ユーザー、オーディオ、およびチャンネルの設定をリセットします。

トラブルシューティング

他のユニットと通信することができません

- すべてのユニットで同じ設定ファイルを使用していることを確認してください。
- setup menu/clone configに行き、複数の設定が利用可能かどうかを確認してください。

システムにエコーがあります

- スピーカーの近くにマイクがあるかどうかを確認します。

仕様

Physical:

寸法:	120mm x98mm x47mm
重量:	279g
接続:	1 x Neutrik XLR 4 pin, 1 x Neutrik Ethercon
金具:	ベルトクリップ
電源:	PoE

Connector Pin assignments:

HEADSET



- Pin 1: MIC Ground
- Pin 2: MIC Signal
- Pin 3: Speaker -
- Pin 4: Speaker +

仕様

Wireless:

範囲: 50-300m 環境によります。

DECT: DECT準拠方式

RF: RF range: 1870 MHz to 1930 MHz

受信感度: < -93 dBm

トランスミッター: JP: 23 dBm: 1895 MHz - 1903 MHz

ディレイ: Wired: 12msec、Wireless: 26msec

消費電力: 32mA@1.8W

オーディオ仕様:

MCX (D)、BPX有線ベルトパック、WPX ワイヤレスベルトパックをWAAアンテナ経由で測定出力ヘッドセット、音量0 dB

RMS値 22Hz~22kHz 負荷なし

デジタルオーディオフォーマット: リニア16ビット16/32 kHzサンプルレート (標準/拡張オーディオ)

ワイヤレスリンク: G722ワイドバンドコーデックによるDECT

Input	Headset mic	Panel mic	Line
Connector	XLR4M pin 1-2	XLR 3F	XLR 3F
Type	unbalanced	balanced	balanced
Electret mic bias / Phantom power	0/ +2,5	0/+10V	
Gain	+30 - +70dB	+24 - +64dB	-9 - +31dB
Limit-level AGC	-12dBFS = +2dBu		
Gate Threshold	Off, -45dB - -20dB 5dB steps		
Sidetone level	Mute, -24dB - 0dB 3dB steps		
All wired units			
Noise	-70 - -55dBu	-75 - -55dBu	-75 - -55dBu
Latency mic-network - headphone	12 msec	12 msec	12 msec
Wireless beltpack			
Noise	-63 - -52dBu		
Latency mic-network - headphone	26 msec		
Frequency response standard	240 - 7000 Hz	200 - 7000 Hz	140 - 7000 Hz
Frequency response enhanced	240 - 14000 Hz	200 - 14000 Hz	140 - 14000 Hz
Enhanced only on wired units channels			
Output	Headset	Internal speaker	Line
	All units	MCD/WP	MCD/WP
Connector	XLR4M pin 3-4		XLR 3M
Nominal level	0 dBu		0 dBu
Max output	+20 dBu	>2W	+12 dBu
Load	32 - 600 Ohm	>8 Ohm	o/p imp 240 Ohm

Green-GO is designed and manufactured in the Netherlands by ELC Lighting
Worldwide sales: Anima Lighting, Le Bouveret, CP 46, CH-1895 Vionnaz